

ホットニュース

(社)岡山県畜産協会では、消費者の方々に畜産の現況と畜産物の安全安心を知ってもらおうと、平成21年2月26日(木)に「ふれあい牧場体験(講習・研修会)」を開催しました。

当日は岡山県の栄養士の方41名が参加され、2月の下旬だということに比較的暖かで、天候にも恵まれた中での体験でした。

まず、加賀郡吉備中央町にあるストックファームを訪れ、そこで肉牛肥育と乳牛の育成の生産現場を見学、その後、道の駅「かもがわ円城」に立ち寄り、地産地消の直売施設を見学、昼食に「おかやま地どり」の定食を試食しました。

その後、場所を岡山市の岡山県営食肉地方卸売市場へ移し、牛肉と豚肉について学習、特に、BSE検査など食肉の検査内容などを学びました。その後で岡山県食肉センターで枝肉のカット風景を見学しましたが、トーレーサビリティシステムなど食の安全安心対策を徹底して実施していることに深く感心されるなど、充実した「ふれあい牧場体験」となりました。



あとかき

平成21年度が始まった。今月号で各関係機関の人事配置を載せました。今年から各機関の電話番号を載せてみました。ここを見ながら、関係機関が相互に電話などで連絡を密にして事業の推進を図って頂きたいとの思いを込めて、ささやかな試みをやってみました。

また、畜産を取り巻く環境が厳しい中であって、畜産農家への支援事業が多岐にわたってありますので、農家の方も是非、電話で、お気軽にご相談をいただければと思います。

(M・Y)